授業科目	精神医学と精神医療					実務家教員担当科目	–
単位	4	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	三木　浩司						
授業概要	教育に含まれる内容 1. 精神疾患概論(代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。) 2. 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化 3. 医療機関との連携 授業の概要 本講義では精神科医としての実務経験を基に以下の内容を享受する。 1.精神疾患総論として、精神疾患とその治療では認知症などの器質性疾患、依存症、うつ病などの内因性疾患といった代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解させる。具体的には、精神疾患の歴史と現状、精神疾患の生物学的基盤、こころの理解、精神障害の概念、精神疾患の成因と分類、代表的な精神科疾患、精神症状と状態像、診断の手順と方法、身体的検査と心理的検査を理解させる。 2.精神科疾患の治療（薬物療法、身体両方、精神療法、精神科リハビリテーション、環境・社会療法）および精神科医療機関の治療構造、専門病院について理解させる。						
授業形態	対面での講義と小グループでのディスカッション	授業方法					

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１．精神障害に起こりやすい症状（精神症状）とそれを表現する術語を理解し、内容を説明できる。 ２．精神障害の各々について理解し、その内容を説明できる。 ３．精神障害の治療、社会復帰および社会資源の活用について理解し、その内容を説明できる。 学生が到達すべき行動目標１．２．３．のいずれの項目も充分とは言えないが最低限のレベルで達成できている。
理想的レベル	学生が到達すべき行動目標１．２．３．のいずれの項目も十分に達成できている。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	65%	
小テスト		
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		

レポート外の提出物	10%	
その他	15%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21307J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習：配布した資料を確認しておく	4

授業計画	
第 1 回	精神医学、精神医療の歴史について解説する。精神医学の概念について説明する。
第 2 回	脳と神経の解剖・生理 精神疾患の理解基礎となる脳の構造や働きの概要を説明する。
第 3 回	診断法 診断の手順と方法について説明する。精神症状と状態像について説明する。 心理検査、身体的検査について説明する。
第 4 回	代表的な精神障害：神経発達症群 1 ～精神遅滞の概念と診断、対応について解説する。
第 5 回	代表的な精神障害：精神発達症群 2 ～発達障害の概念、診断について解説する。
第 6 回	代表的な精神障害：精神発達症群　3 ～発達障害の治療、対応について解説する。
第 7 回	代表的な精神障害：統合失調症 1 ～統合失調症の症状、病型、診断、病因などについて解説する。
第 8 回	代表的な精神障害：統合失調症 2 ～統合失調症の治療、経過、予後、社会復帰などを解説する。
第 9 回	代表的な精神障害：気分障害 1 ～気分障害の分類と疫学、臨床症状、発病因子などを解説する。

第 10 回	代表的な精神障害：気分障害 2 ～気分障害の治療、予後などについて解説する。
第 11 回	代表的な精神障害神経性障害、ストレス関連障害、心身症１ ˜不安または恐怖症群について解説する。
第 12 回	代表的な精神障害神経性障害、ストレス関連障害、心身症２ ˜強迫症または関連症群について解説する。
第 13 回	代表的な精神障害：神経性障害、ストレス関連障害、心身症３ ˜解離症群について解説する。
第 14 回	代表的な精神障害：食行動症または摂食症群、排泄症群について解説する。
第 15 回	代表的な精神障害：身体的苦痛症または身体体験症群について解説する。
第 16 回	代表的な精神障害：物質使用症群または嗜癖行動群について解説する。
第 17 回	代表的な精神障害：衝動制御症群、秩序破壊的または非社会的 l 行動症群、パーソナリティ症群および関連特性について解説する。
第 18 回	代表的な精神障害：パラフィリア症群、作為症群について解説する。
第 19 回	代表的な精神障害：認知症と他の神経認知障害群１ ～生物学的仕組み、診断について解説する、
第 20 回	代表的な精神疾患：認知症と他の神経認知障害群２ ～治療と対応について解説 d する。
第 21 回	性の健康に関連する状態について解説する。
第 22 回	治療法 1：身体療法 ～薬物療法、修正型電気けいれん療法等身体療法について解説する。
第 23 回	治療法 2：精神療法 ～支持的精神療法、各種の特殊な精神療法について解説する。
第 24 回	治療法 3：環境・社会療法、精神科リハビリテーションのそれぞれについて解説する。
第 25 回	司法精神医学： 司法精神医学について解説する。精神障害者と刑法、医療観察法と医療との関係についても説明する。”
第 26 回	精神科医療機関の治療構造および専門病棟について解説する。

第 27 回	精神科医療における人権擁護について解説する。
第 28 回	精神医療と福祉および関連機関との間における連携の重要性について解説する。
第 29 回	サイコオンコロジー、緩和ケアについて解説する。
第 30 回	精神医学の現状と今後について。総まとめについて講義する。
テキスト	「精神疾患とその治療」中央法規出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に適宜資料を提示する。必要に応じてパワーポイント資料を配布する。
課題に対するフィードバックの方法	授業貢献度・授業課題レポート、定期試験をもって総合評価する。総合評価の比率は上記に示している。 授業課題レポートに関しては、授業の中で指示する。
学生へのメッセージ・コメント	精神医学は、医学的基礎（生理学、解剖学その他）が出来ていると理解しやすいので、医学一般科目の復習をして授業に臨むことが望ましい。 講義に関連した参考になる書籍を図書館などで探して読むと、さらに理解が深まる。